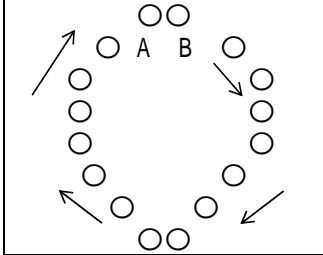


平成 14 年度小学校ジョイフル英語学習実践事例

小学校名	可茂地区小学校	対象学年	中学年	実施時期	11月
題 材 名	草原で遊ぼう				
主 な 表 現 補 助 資 料	Ah-choo! Bless you. Thanks. ラージ・ピクチャー・カード(くしゃみをしている少女、声をかけている少年)、 テキスト(英国版) 付属 CD				
本時の目標	リレーゲームを通して、"Ah-choo!" "Bless you." "Thanks."というくしゃみの表し方や声の かけ方の表現に親しむ。				
学 習 活 動	教師の指導・援助	留 意 点			
<p>復習</p> <p>ALT の発音を聞き、アルファベットの P か B の(音の)どちらで始まる言葉か考える。黒板の P か B の文字の一つを素早く指さす。</p> <p>新しい表現の練習</p> <p>新しい表現を用いた対話を聞く。</p> <p>A: Ah-choo. J: Bless you. A: Thanks. 絵を見ながら英語で A L T の説明を聞く。</p> <p>絵についての質問を聞き、答える。話している絵の人物を指さしたりする。</p> <p>C D の対話を聞いて、まねをして言う。</p> <p>リレーゲームを行う。</p> <p>ゲームのやり方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机を片づけて輪になって座る。 ・はじめにリレーで次の会話をつなげる練習をする。 <p>A: Ah-choo. B: Bless you. A: Thanks.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの児童が A。隣の児童が B。次に B だった児童が A になり、次の人へ質問してリレーしていく。 ・2グループに分けてタイムレース形式で競い合って活動する。 <p>がんばったことを認め合う。</p> <p>自分や友達の学習ぶりについて次の点から発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて知った表現 ・楽しかったこと ・大きな声で ・元気いっぱい 	<p>J: いくつかの単語を発音しながら黒板に大きく P と B の文字を書く。</p> <p>A: 児童の反応を確かめながら単語を発音する。(pig, book, pencil, boy, pizza, ball, 等)</p> <p>A&J: 二人でジェスチャーを交えながら対話し、新しい表現を紹介する。</p> <p>A: 絵を指しながら話す。 This is Ivy. She is a girl. This is Joe. He is a boy. Ivy said, "Ah-choo!" Joe said, "Bless you." Ivy said, "Thank you."</p> <p>A: 話題にしている絵を指しながら質問する。 Is this Ivy? Who is he? Who says, "Ah-choo?" Who says, "Thanks?"</p>  <p>A: グループレースでは一方のグループに交互に加わり、モデルを示す。</p> <p>J: 気持ちを込めたり、雰囲気が出ている児童を認め、広めていく。</p> <p>A&J: 児童のがんばった姿について、評価内容を分担して認め励ます。</p> <p>ALT: 英語のよさ(タイミング、気持ちの込め方、リクエストした英語表現)</p> <p>JTE: 意欲・積極さ、友達とのかかわり方</p>	<p>発音のスピードや声の大きさを変えたりして、変化をつけて英単語の発音を行う。また、語彙については既習のものを中心とするが、新出の語彙もいくつか紹介する。</p> <p>"Bless you." (「お大事に。」) という決まり文句だが、もとは "God bless you." (「あなたに神のご加護、あらんことを。」) の意味であることを分かりやすく説明する。</p> <p>知らない単語をいくつか出し、文の流れから考えさせたい。わかる表現から何が話されているか類推できるよう励ます。</p> <p>CD の音声にも触れさせ、同じ文でも違う人が話すと違って聞こえたり、聞き取れなかったりすることがあることに気付かせる。</p> <p>机は授業のはじめから片づけておいてもよい。</p> <p>児童がゲームに慣れてきたら、会話の英文を増やしたり、既習の会話に変えたりしていく。英文は、児童にリクエストさせる。</p> <p>< 対話例 ></p> <p>A: Ah-choo. B: Bless you. A: Thanks. I have a cold. A: Hello, how are you ? B: Fine, thank you. And you? A: I'm sleepy.</p> <p>英語の発音でつまったりする児童に精神的な負荷がかかりすぎないように、過度に「勝敗」にこだわらせない。</p> <p>学習活動の中で認め、励ました姿について、再度、必要に応じて個人名を挙げたりして、そのよさを価値付ける。</p>			